

10月29日

ガラスガラガラ

PCはMac: カツは味噌カツ: 猫はさぼとら: そんなわたしの雑記帳

ねこぱんち さん



nicel! 219

記事 347

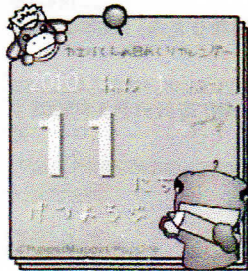
プロフィール

カレンダー

<< 2010年01月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

☆



最新記事一覧

機能

因果応報

音階と色彩

タヌキとキツネ

笑う警官

カテゴリー

雑感(203)

映画みましょ(26)

おはなしおはなし(16)

Mac普及運動(12)

My Favorite Things(14)

おみくじ A GOGO(1)

小さいネタ(28)

3代目の国(20)

失われた土地で-震災の記録(15)

旅行(3)

歯列矯正(5)

中古マンション購入業(1)

何故言わない? ES350暴走とプリウス.. | 神農祭

ブログトップ

地球温暖化懐疑論批判【雑感】

ちょっと前の記事ですが...

(<http://www.nikkei.co.jp/news/kaigai/20091023AT2M2300X23102009.html>)

地球温暖化「確かな証拠ある」57% 米調査機関

地球温暖化が起きている確かな証拠があると考える米国民は57%で、1年半前の調査から14ポイントも低下するなど、地球温暖化に危機感を抱く人が著しく減っていることが米調査機関ピューリサーチ・センターが22日発表した調査結果で分かった。

いや—もう、アメリカ人(の約半分43%)、ほんまにアホですよ。

さんざんCO2撒き散らしときながら、あまりの鈍感さにあきれんやらなんやら。

まあ、日本だとどれぐらいの調査結果になるか、気になりますが(アメリカよりもまだとは思うけれど)。

さて、この期に及んで日本でもCO2による温暖化を否定する人間が何故かいますが、彼らは何のために否定してるんですかね。
CO2大排出国であるアメリカや中国から金もらって、というかそんなわけないだろうから、何のためにロビー活動してるのかが気になります。

CO2が赤外線の光を効率よく吸収する以上、CO2が増えれば温暖化するの当たり前。
(水も赤外線の光を非常によく吸収しますが、水の場合は、CO2とは状況が異なる。詳しくは <http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~rck/tohda.pdf>参照)

あまりにも単純過ぎる事実なのに、どういうメリットがあって否定するんだろう。
自分がアホであることを周囲に触れ回っているだけなんだが。
(しかも、その理屈きたら滅茶苦茶で、これまで地球の気温はもっと変動してきた、とか。最大の問題は、急激な高温化によって今の人口と文明を維持できなくなるということなのに)

で、
地球温暖化懐疑論批判(1)
<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

全文読むことができます。
アホにあきれている人は是非お読みください^^

2009-10-29 23:05 nicel!(0) コメント(2) トラックバック(0)
共通テーマ: 日記・雑感

nicel! 0

ecogroove

きもちいいから、続けられる。COOL!!でPOP!!なエコ情報ブログ。

プロフィール

エコ・コピーライターの、丸原孝紀と申します!

モットーは、「書きつづける。この世に言葉と問題がある限り。」

COOL! でFRESH! なエコ情報を毎日UPLしていきます。

- ☆HP
<http://nippon-bashi.biz/ecogroove/>
- ☆mixi
http://mixi.jp/show_friend.pl?id=293197
- ☆twitter
<http://twitter.com/ecogroove>

ちなみに、
↓2007年6月7日までの日記はココ
<http://d.hatena.ne.jp/ecogroove/>
↓2006年6月18日までの日記はココ
http://blogs.yahoo.co.jp/ecogroove_kagavaki

カレンダー

2010年01月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

カテゴリ

- [エコ本](#)
- [農](#)
- [政治経済](#)
- [その他](#)
- [森林](#)
- [生態系保護](#)
- [ぶらり](#)
- [健康](#)
- [エコグッズ](#)
- [エコ](#)
- [エコ・コミュニケーション](#)
- [エコイベント](#)
- [ピース](#)
- [エコめし](#)
- [ゴミ問題](#)
- [音楽](#)

<スマート・グリッド構築に3100億円! | TOP | 意外に本格派のきしめん>

2009年10月30日

無料DLできる!「地球温暖化懐疑論批判」

数年前から、本屋の環境コーナーには、「温暖化はウソだ」というような本が並んでいます。

人は他人から何かを強制されるのはイヤなものです。また自分の生活を変えることにも抵抗があります。

世の中、エコエコやかましいなあと思っている人は少なからずいるわけで、そういう人たちにとって「懐疑論」は心地よく響くようです。

とはいえ、国際的な枠組みのなかでは、温暖化による気候変動というのは疑いのない事実として受け止められており、新しい秩序づくりに向けて着々と議論が進みつつあります。

懐疑論を訴える人はヒステリックな印象でインパクトがあり、視聴率がほしいテレビなどは喜んで取り上げます。

そうすると、科学の世界では異端である懐疑論も、多くの人の認知の上では定説となりかねません。

もはや「変な人がなんか言ってるよ」では済まされないような状況。そんな状況に待ったをかけるべく、科学者たちの反論が始まりました。

これまでもポロポロとは出ていたのですが、東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)が、代表的な懐疑論と、それに対する科学的な反論を80ページにもわたるブックレットにまとめました。

人為起源の二酸化炭素排出を主な原因として地球規模で気候が温暖化するという、いわゆる人為的地球温暖化説の信憑性や地球温暖化による被害を緩和するための対策の重要性に対し、懐疑的あるいは否定的な見解をとる議論が

省エネ

エコエネ

温暖化対策

水

山

映画

■ 最新のエントリー

[自転車よりバワフルに、スマートフォンにするアイデア](#)[あつたかいお金のつかいかた、](#)[Kiva](#)[ドコモは環境ビジネスの会社になる?](#)[ココヨから、間伐材をつかった家具が!](#)[独裁者たちの、眠れない夜。](#)[ハートのかたちをした鳥を応援しよう!](#)[ホッキョクグマの共食いと、化石燃料文明](#)[動物園の人気者もピンチに...](#)[ブラジルの干上がった魚が訴えるもの](#)[宣年だけど、トラがない?!](#)

■ コメント

[Re:大きな命を守る、小さな心がけ。](#)[Re:大きな命を守る、小さな心がけ。](#)[Re:COP15で交わされている熱い言葉をピックアップ](#)[Re:COP15で交わされている熱い言葉をピックアップ](#)[Re:あたらしいCSRのかたち、シエルの「グローバルシナリオ」](#)[Re:あたらしいCSRのかたち、シエルの「グローバルシナリオ」](#)[Re:あたらしいCSRのかたち、シエルの「グローバルシナリオ」](#)[Re:今日は忍...](#)[Re:無料DLできる!「地球温暖化懐疑論批判」](#)[Re:意外に本格派のきしめん](#)

■ トラックバック

[日本にハートのかたちをした鳥があるのを知っていますか?](#)[ついに140冊〜エンデの遺言](#)[本音で語ろう温暖化のこと](#)[南の国から2009年秋〜バカにした村人らが携帯の充電に訪れる](#)[新着情報 キャドバリー、フェア](#)[トレード認証のチョコ](#)[エコ議員つうしんぼ](#)[6月20日は世界難民の日](#)[今日中に政府にかんたんメールを送ろう。](#)[今日中に政府にかんたんメールを送ろう。](#)

日本国内でも存在している。

社会からの信頼にその活動基盤を置く科学者コミュニティは、こうした現状を産視すべきではないと考える。

したがって、本稿ではこれらの議論から主な論点を拾い上げ、一方的な、あるいは間違った認識に基づくものに対して具体的な反論を行う。

(本文「our mission」より)

分量は多いですが、なかなか読みやすい本にまとまっています。PDFでもダウンロードできるので、ぜひ読んでみてください。

●IR3S/TIGS叢書No.1「地球温暖化懐疑論批判」

(東京大学サステナビリティ学連携研究機構)

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

☆いつも読んでいただきありがとうございます。

人気ブログランキングに参加しています

↓1日1回ポチッとクリックいただけると励みになります。

<http://blog.with2.net/link.php?647478>posted by ecogroove |10:29 |[エコ本](#) |[コメント\(2\)](#) |[トラックバック\(1\)](#)

トラックバック

■ このエントリーのトラックバックURL

http://www.econakoto.net/ecogroov/tb_ping/859

■ この記事に対するトラックバック一覧

[本音で語ろう温暖化のこと【全体主義的言語の時代～社会学的トリックスター分析～】](#)

日本の温暖化利権の構図 地球温暖化は、まさに地球規模の問題として、国際政治においても、重要な駆け引きの道具になっている。そこで、日本の温暖化研究者や利権関係者について、本音を探ってみようと思う。中国の方からの大切なメッセージ「地球温暖化問題懐疑論へのコ

[続きを読む](#)

コメント

■ この記事に対するコメント一覧

Re:無料DLできる!「地球温暖化懐疑論批判」

DLさせていただきます。

僕もなんとなく雰囲気温暖化懐疑論を信じていくところでした。

科学者の反論をしっかりと学ばさせていただきます。

posted by おおさき |2009-11-02 20:26

Re:無料DLできる!「地球温暖化懐疑論批判」

おおさきさん、おはようございます。

マスコミでは根強い懐疑論も、

melma! トップへ

ジャンル

ランキング マイメルマ!

グリーン・フォワード

温暖化対策

検索

懐疑論にきちんと反論する、いわゆる「懐疑論バスターズ」という大々もちゃんと存在します。
正しい知識を得ることは必要なことです。
バスターズの皆様の献身的な活動には本当に敬意を表します。

10月31日

東大のサステナビリティ学連携研究機構から
IR3S/TIGS叢書No.1 『地球温暖化懐疑論批判』 が出版されました。
冊子版も無償で入手できるうえ、(送料は掛かるかも)
PDFで無料ダウンロードもできます。
<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

さらに、このような本も最近出版されています。

『地球温暖化—ほぼすべての質問に答えます! (岩波ブックレット)』
<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4000094602>

懐疑論者は、倫理的に間違ったことをしているということを自覚し、
真の温暖化防止活動にご協力いただきたいところです・・・

環境・持続可能な社会へのみんなの一步

グリーン・フォワード

<http://www.greenforward.org>
No. 075 2009/10/31

ご意見、ご感想、情報の提供は info@greenforward.org まで

この記事の発行者

<<前の記事 | 次の記事>> | 最新の記事

理工学系の専門図書 www.ngtbook.com
高機能材料から粉体電顕写真の材料系レーザー・テラヘルツの電気、化学系

地球を賢く、スマートに。 IBM.com
地球を、より賢く、よりスマートに。IBMがお手伝いします。

メールアドレスを入力

規約に同意して登録 解除

読者登録

>>メルマ!の会報誌もお届けします

ブックマーク:

この記事へのコメント

コメントはありません。

[コメントを書く](#)

このメルマガの最近の記事

- [環境・持続可能な社会へのみんなの一步 No.075](#)
- [環境・持続可能な社会へのみんなの一步 No.074](#)
- [環境・持続可能な社会へのみんなの一步 No.073](#)
- [環境・持続可能な社会へのみんなの一步 No.072](#)
- [環境・持続可能な社会へのみんなの一步 臨時広報号](#)

◀◀ 2009年 10月 ▶▶						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

<<<2008年(3)

<<<2007年(11)

<<<2006年(27)

<<<2005年(19)

<<<2004年(20)

地球温暖化懐疑論批判という冊子

11月15日

11.15.2009

文部科学省科学技術振興調整費で行われている事業、「戦略的研究拠点育成」というものがある。東京大学が環境関係の大プロジェクトIR3Sというものを実施していたが、このプロジェクトの叢書No. 1として、「地球温暖化懐疑論批判」という冊子が発行された。

この本で反論の対象となったのは、樋田敦、薬師院仁志、渡辺正、伊藤公紀、近藤邦明、池田清彦、矢沢潔、ロンボルグ、ダーキン(映像監督)、武田邦彦、伊藤・渡辺、山口光恒、丸山茂徳、武田・丸山、養老猛司、赤祖父俊一の各氏である。

これに対し、懐疑論批判派として執筆に加わったのは、
 東北大学 明日香壽川
 気象研究所 吉村 純
 海洋研究開発機構 増田耕一
 海洋研究開発機構 川宮未知生
 国立環境研究所 江守正多
 国立環境研究所 野沢 徹
 国立環境研究所 高橋 潔
 海洋研究開発機構 伊勢武史
 国立極地研究所 川村健二
 東京大学 山本政一郎
 の各氏

ざっと読んだ感想としては、これで科学的な論破はできているように思うが、一部に、感情的な反発に関する配慮がまだ不足気味なのではないか、と感じた。

今回、ここで取り上げる理由は、2つ

1. 最新の気候変動に関するデータが得られるので、その再確認を行うこと。
2. 感情的反発に対してどう対処すべきか若干考える。

ところで、この冊子であるが、現物の入手方法は不明であるが、もしもPDF版でよければ、

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

にアップされているので、自由にダウンロードが可能である。

C先生:冊子の「最後に」というところで(p73)、多分、江守氏が執筆したのではないか、と思うのだが、「自己利益だけのために温暖化対策に反対する人々に都合よく使われ、温暖化対策は必要不可欠という社会意識の醸成を阻むボディープローのように利いている懐疑論に対しては、(疲れるなど思いつつも)一つ一つ丁寧に反論をしていかねばと思う」。

これはまさに本音として十分に理解できる。

A君:「自己利益のため」という言葉で表現していることの本来の意味は、「これまでエネルギーを大量に消費することによって、経済成長ができるという枠組みをフルに利用してきた人々の自己利益」、という意味だと思うのですが、懐疑論者も

塵も積ればほこりと成る

他愛ない事に少し喜んでいただけるなら幸いです。

11月28日

カレンダー

十月を選択+

12 << | 2010/01 | >> 02

日 月 火 水 木 金 土

- - - - - 1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

31 - - - - -

検索フォーム

検索

新着記事

- 紅白は既に去年 (01/02)
- 子ども向けマジックショーを見てきた (12/25)
- PCのケースを静音タイプに変えてみた (12/14)
- 「地球温暖化懐疑論批判」を読んで喰る (11/28)
- ユニクロはすごかったらしい (11/23)
- ハンバーグが食べたかったから作ってみた (11/02)
- ウイルスバスター2010のパーソナルファイアウォールでもファイル共有が使えなくなった (09/25)
- 政策を撤回する勇氣 (09/24)
- まだ直らぬ腰痛炎 (09/12)
- ボルト様、9秒58叩き出す@世界陸上 (08/19)

カテゴリ

- 雑感 (114)
- トエコロジー (5)
- トメディア (11)
- ト食 (27)
- ト疑似科学・オカルト (10)
- ト精神医学・心理学 (5)
- ト宗教・信仰 (4)
- ト放射線 (9)
- ト情報リテラシー (6)
- ト手品 (6)
- トマネー (5)
- トリスク管理 (5)
- トよなしごと (21)
- 本 (3)
- デジタル機器 (41)
- トPC (5)

PCのケースを静音タイプに変えてみた << NEXT

HOME

PREV >> ユニクロはすごかったらしい

「地球温暖化懐疑論批判」を読んで喰る

2009-11-28 category : エコロジー

地球温暖化問題を「なんか胡散臭くね？」と批判する論を「地球温暖化懐疑論」と言うらしいが、そんな懐疑論をさらに批判する本が、なんと無償公開されている(リンク)。一通り読み終えたのでその感想を。すばらしい内容でした。

私自身の生活では、資源を無駄に使いたくない単純な意図で、もったいない活動に取り組んできたつもり。

その一方で、たとえば冷蔵庫のCMなんかで「もちろんエコ！」とか言っているタレントと並ぶ冷蔵庫がえらくでかいのを見ると、効率化とエネルギー総消費量の抑制とを意図的にすり替えて消費者をミスリードしている感じがあって、CMだけじゃなく実は「地球温暖化論」自体が胡散臭いんじゃないの、と思うこともある。

地球温暖化論に対し、「そんな大げさに考えなくても大丈夫だよ」から「やばいやばいって言いながら一儲け考えてるんじゃないのあんだ？」まで、温暖化はしない、あるいは心配しなくても良いと主張する論を地球温暖化懐疑論と言うらしい。「懐疑論」という言葉は通常は「決めつけないでなるべく実証科学的に検討しましょう」という態度を示すのだけれど、この場合は簡単に言えば「温暖化なんてウソだし」という意味で使われている。

僕は基本的に世間が「○○に間違いない！」と言い出すと「それ本当ですか？」と疑うへそ曲がりなので、地球温暖化論もちょっと疑っていた。初心者向けの関連本を読んで(「環境問題のウソ」池田清彦著 リンク)、これはこれで胡散臭いものの、ああやっぱりこういう主張もあるのだなと思っていた。

で、ようやく今回紹介したかった本の話になる。幾つかの大学が共同で学際的の研究を行なうサステイナビリティ学連携研究機構があって、そこから「地球温暖化懐疑論批判」という冊子が発行された。有り難いことにpdfとして無償公開されていて、誰でも読める状態になっている。



サステイナビリティ学連携研究機構 IR3S/TIGS叢書No.1 地球温暖化懐疑論批判(リンク)

膨大な研究結果を使って、温暖化懐疑論に対し丁寧に反証している。極めて学術色の強い内容で、むちゃくちゃに読みにくく、気象学門外漢の私には理解できない部分が多々あるのだけれど、懐疑論に対し「何言ってもいいけど、わけわかんないこと言っているときっちり反論するけんね」という気合いが溢れている。価値判断を極力抑えて、あくまで科学的知見から論証しようとする姿勢が私好みであって、魅了されてしまった。

このpdfを読み終わった後に「環境問題のウソ」の温暖化の章を読み直したら、とても薄っぺらな論だったのだなと感じた。著者の池田清彦氏は読者をミスリードしようと意図しているわけではないのだろうけれど、「ヒトは自分の信念を裏付ける証拠を見つけ出す」という心理学の本に書いてあった文句を思い出してしまった。

甲12-7号証

Hatena::Diary

日記 検索

ようこそゲストさん

ブログトップ

記事一覧

ログイン

無料ブログ開設

11月29日

世話人日記

2009-11-29

【によるによる】「地球温暖化懐疑論批判」って言う冊子がでてます。

一読をお勧めします。

いろいろと出されてる「温暖化懐疑論」ってのが、すべてとは言いませんが「○○陰謀論」とか「フリーエネルギー」とかと似たような「ニセ科学」に近いもんなんだなことがわかります。

私は研究者でもなんでもない無学なオヤジですから、学問的な事はわからんのですがね…。

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

この冊子について解説しているこちらもお勧め。

<http://www.yasuienv.net/CriticalSkeptic.htm>

ちょっと話がとびますけど「事業仕分け」についての、こう言ったきちんとした解説はないものでしょうかねえ。

世を騒がしている「スパコン凍結」とかも「無駄ではないか？」って言ってる理由が必ずあるんですよ。

問われるのはマスコミの姿勢です。

なぜ、事業仕分けの俎上に上げられたかってことについては全然報道せずに

「二位じゃダメなんですか？」なんて言う(そこだけ聞いたら)バカみたいなセリフばかり取り上げてるんです。

困ったもんですね。

Permalink | コメント(1) | トラックバック(0) | 09:40

コメントを書く

11月30日

れない?という心配な状況です。これが、『私たちの選択』から紹介したように、化石燃料を使い続けたい業界が組織的に展開している温暖化否定・対策懐疑論キャンペーンの影響なのかどうか...?

これにも関連して、研究者の方から、エール大学がおこなった調査レポートを送っていただきました。「効果的なコミュニケーションの第一歩は、相手を知ること。アメリカ人と十把一絡げに言うのではなく、その関心や理解の度合いから6つに分けて考えることができるし、それが効果的」という内容のようです。面白そうなので、またお伝えできればと思います(大きな翻訳が終わったので、やっとそういう時間がとれそうです!)

そうそう、日本にも温暖化懐疑論がありますね。そういう人や意見に出会って、苦労したこと、ありませんか?(私はときどきあります)

そんなときに、「いろいろな懐疑論に、きちんと対応し、批判し、説明してくれる科学者がいてくれたらなあ!」と思いますよね。

そんな人たちへの科学者からの心を込めた贈り物があります。

■日本での「温暖化懐疑論」とそれらへの批判・説明

温暖化に関する日本の科学者が、日本での懐疑論を取り上げ、きちんとデータを示しつつ、反論・批判するペーパーを出してくれています。何度か改訂を重ね、このたび、無料でダウンロードできる書籍の形で刊行されました。

IR3S/TIGS叢書No.1

「地球温暖化懐疑論批判」

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

著者: 明日香壽川 河宮未知生 高橋潔 吉村純 江守正多 伊勢武史 増田耕一 野沢徹 川村賢二 山本政一郎

人為起源の二酸化炭素排出を主な原因として地球規模で気候が温暖化するという、いわゆる人為的地球温暖化説の信憑性や地球温暖化による被害を緩和するための対策の重要性に対し、懐疑的あるいは否定的な見解をとる議論が日本国内でも存在している。

社会からの信頼にその活動基盤を置く科学者コミュニティは、こうした現状を座視すべきではないと考える。したがって、本稿ではこれらの議論から主な論点を拾い上げ、一方的な、あるいは間違った認識に基づくものに対して具体的な反論を行う。(本文「our mission」より)

PDFで無償でダウンロードできますので、ぜひどうぞ!

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

以下、冒頭からご紹介します。

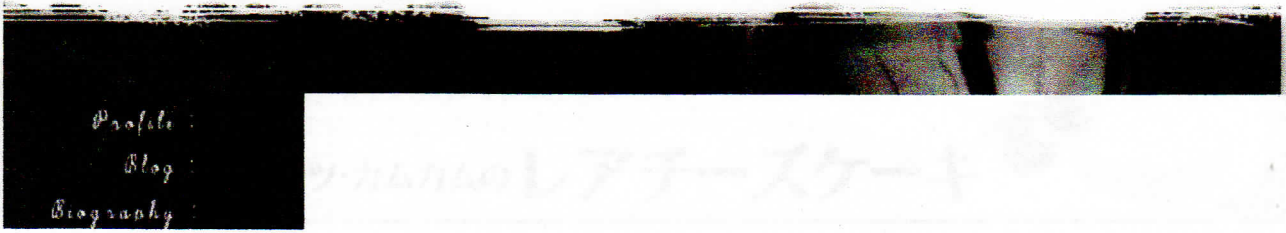
ドコムブログの記事を検索

このブログから

検索

12月4日

- [派遣の仕事探しなら派遣EX](#)
- [廃車 中古車検索](#)



熱帯京都

アーティスト集団cloudsのtoshi tanakaによるブログ(遺書)。

《文化政策の必要性-「かたちのないもの」にこそ真の豊かさはある | [Main](#) | [ビリキーノ/フイゴ/のら酒房](#)》

2009年12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

地球温暖化懐疑論批判 [2009年12月04日(金)]

カテゴリアーカイブ

- [旅 \(54\)](#)
- [哲学 \(19\)](#)
- [今日の出来事 \(84\)](#)
- [物語 \(6\)](#)
- [独り言 \(47\)](#)
- [映画 \(47\)](#)
- [音楽 \(30\)](#)
- [CM&広告 \(29\)](#)
- [今日の新聞から \(31\)](#)
- [研究-国立公園・世界遺産・ツーリズム \(42\)](#)
- [ヒコークとか乗り物 \(3\)](#)
- [自然と文化\(伝統、芸術\) \(19\)](#)
- [ふとしたアイデア \(13\)](#)
- [研究-歴史、哲学、文学 \(14\)](#)
- [テレビ番組について \(15\)](#)
- [料理、ワイン、お酒 \(7\)](#)
- [環境政策 \(20\)](#)
- [政治、行政、政策 \(20\)](#)

「地球温暖化懐疑論批判」を読んだ。東北大の明日香先生や国立環境研究所の江守先生など10人の科学者(気候変動の専門家)がこれまで巷で売られていた地球温暖化懐疑論を丁寧に科学的に論破している。

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/pages/236/all.pdf>
↑
ダウンロード可能

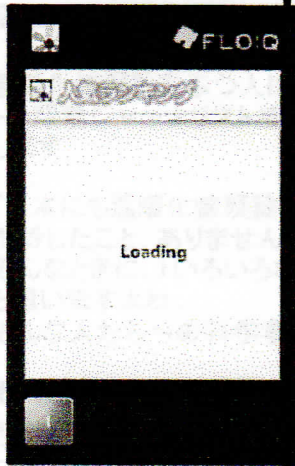
内容は、その名の通り、懐疑論を批判することなのだが、そもそも乱暴なデータ利用しかしていない「とんでも本」に対して非情に丁寧に対応しているので、頭が下がる。そこまで丁寧にやらなかったって、世間の多くの方は、ちゃんと分かっていると思いますよ・・・と突っ込みをいれたいくなるほど丁寧だ。

ところで、なぜこのような「とんでも」本が人気なのか。いくつかの背景があると思う。

月別アーカイブ

- [2010年01月 \(6\)](#)
- [2009年12月 \(15\)](#)
- [2009年11月 \(26\)](#)
- [2009年10月 \(21\)](#)
- [2009年09月 \(29\)](#)
- [2009年08月 \(13\)](#)
- [2009年07月 \(40\)](#)
- [2009年06月 \(39\)](#)
- [2009年05月 \(23\)](#)

1. ソーカル事件(知の欺瞞)も有名なように、世間にはアンチ主知主義が多く存在する。アメリカはとりわけその傾向が強いが(だからこそ、頭の悪そうなブッシュがバイブルベルトの支持を強く受けて当選する。同様に小泉のような人物が人気となる。僕も好きだけど)つまり、人間から非合理性を完全に排除す



MY FLO:Q



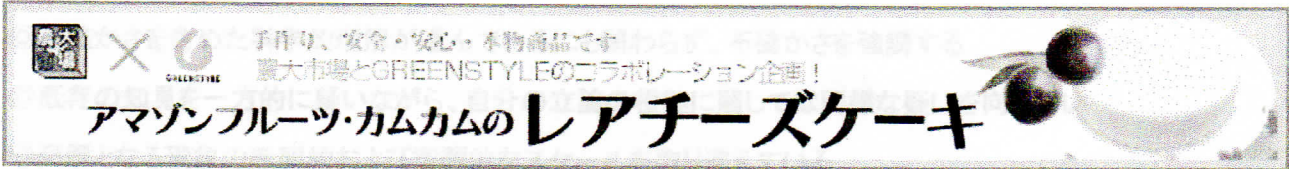
ADVERTISEMENT
FLO:Qのカスタマイズは [こちら](#)

最新記事

- (書評) [われら失いし世界-the World We Have Lost](#)
- [鳩山総理のtwitter](#)
- [機内放送、方言になります 他2編](#)
- [2009年のCMを振り返る](#)

甲12-10号証

12月7日



Blog



GREEN BIZ

前の記事
次の記事

2009.12.07

温暖化懐疑論者に負けないための応援サイト紹介！

温暖化懐疑論をぶつ人に出会って、へなっとなってしまった経験を持つ人々を応援する日本の科学者のサイトを環境ジャーナリスト枝廣淳子さんの Enviro-News No. 1725 (2009.11.30)メールから一部を引用して紹介します

『日本にも温暖化懐疑論がありますね。そういう人や意見に出会って、苦勞したこと、ありませんか？(私はときどきあります) そんなときに、「いろいろな懐疑論に、きちんと対応し、批判し、説明してくれる科学者がいてくれたらなあ！」と思いますよね。 そんな人たちへの科学者からの心を込めた贈り物があります。』

それはIR3S/TIGS叢書No.1「地球温暖化懐疑論批判」のこと。

<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/sosho>

ここからPDFで書籍の形で無料ダウンロード出来ます。

(枝廣さんメールから)

『ゴアさんの『私たちの選択』に出てくる故ダニエル・モイニハン上院議員の言葉を胸に刻みましょう。 「誰にでも自分の意見を持つ権利はあるが、自分勝手な事実を持つ権利はない」』

そうなんです、それぞれ。そして更に引用が続きますが、科学者たちはこう言ってます。

『社会からの信頼にその活動基盤を置く科学者コミュニティは、こうした現状を座視すべきではないと考え、(中略)一方的な、あるいは間違った認識に基づくものに対して具体的な反論を行う。(本文「our mission」より)』

いいぞーと言うことで

著者たち明日香壽川 河宮未知生 高橋潔 吉村純 江守正多 伊勢武史 増田耕一 野沢徹 川村賢二 山本政一郎各氏が

『今なお人為的排出二酸化炭素温暖化説の信頼性や温暖化問題の重要性に対して懐疑的あるいは否定的な議論には、次のような特徴をもつものが多い。』すなわち

『◎既存の知見や観測データを誤解あるいは曲解している

◎すでに十分に考慮されている事項を、考慮していないと批判する

◎多数の事例・根拠に基づいた議論に対して、少数の事例・根拠をもって否定する

◎定量的評価が進んできている事項に対して、定性的にとどまる言説を持ち出して否定する(定性的要因の指摘自体はよいことではあるものの、その意義づけに無理がある)

◎不確かさを含めた科学的理解が進んでいるにも関わらず、不確かさを強調する

◎既存の知見を一方向的に疑いながら、自分の立論の根拠に関しては同様な疑いを向けない

◎問題となる現象の時間的および空間的なスケールを取り違えている

◎温暖化対策に関する取り決めの内容などを理解していない

◎三段論法の間違いなどロジックとして誤謬がある

このような議論の多くは、これまでの科学の蓄積を無視しており、しばしば独断的な結論に読者を導いている。温暖化のリスクが増大している状況下で、このような議論が社会に広まることを科学者としては看過できない。

したがって、私たちは懐疑論に対する具体的な反論をとおして、最新の科学的知見に関する情報発信を行うと同時に、地球温暖化問題の重要性に関する認識の喚起をうながしたと考える。』よく言ってくれました。

ということで36個の議論が載っていますがこれが面白い。ぜひダウンロードを。感想などくださいね。

Kick-o伊藤

・プレゼント



GREENSTYLE 1月のプレゼント

・会員募集中

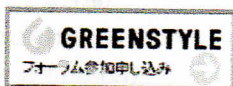


2010年1月より

法人会員募集開始！詳しくはこちらへ

・GREENSTYLEとは

- [GREENSTYLEとは](#)
- [GREENSTYLE Kids Programとは](#)
- [GREENSTYLE 基金とは](#)
- [GREENSTYLE PARTNERSとは](#)



・GREENSTYLE Book

- [バックナンバー一覧](#)
- [配布ポイント一覧](#)
- [GS Book Circleとは](#)
- [Co2排出量表示 \(PDF\)](#)